

「わたしの大好きな練馬区」

光塩女子学院初等科四年 廣瀬 千代子

わたしは、練馬区に住んで、十年たちました。

これからも、練馬区に残してほしい事を、三つ書きます。

一つ目は、自然が多い事です。わたしは幼い頃から、光が丘公園で、野鳥を観察しています。時々、めずらしい野鳥を見つけると、「この鳥は、どこの何ていう名前の鳥なんだろう？」。

と、思います。今、東京に、こんなにたくさん鳥がいるということに、とてもびっくりしました。また、鳥だけでは、ありません。植物もあります。例えばキャベツ畑です。毎年、モンシロチョウが卵を産みに、やってき

ます。こんな、風景は、ずっと残しておきたいです。

二つ目は、にぎやかなことです。わたしの家の近くでは、毎年、『阿波踊り大会』があります。『阿波踊り大会』は、踊っている人はもちろん、見ている人まで楽しめます。このような行事は、みんなが楽しめるので、いつまでも残しておきたいです。

三つ目は、昔の文化をととても大切にしていることです。石神井公園で行われる、『照姫まつり』を見ると、昔に、タイムスリップができます。将来の人にも、この文化を知ってもらうために、残しておきたいです。

今、わたしが書いた三つの事を、わたしの子ども、そして、また、その子どもの世代まで引き継いでほしいです。